

2011年8月3日

各位

チャイナ・ボーチー・エンバイロメンタル・ソリューションズ・テクノロジー（ホールディング）カンパニー・リミテッド

代表取締役会長、総裁兼 CEO チャン・リーチェン
（コード番号：1412） （東証1部）

問合せ先（中国語・英語） CFO ツァオ・シャオピン
電話番号 0086-10-5878-2039

問合せ先（日本語・中国語） 日本事務所
代表補佐 王 尚子
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-7-16
ビュロー虎ノ門 1005号室
03-3595-2008

電話番号 0034-800-1-00070 (IR専用フリーダイヤル)

平成23年12月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月14日に公表いたしました平成23年12月期中間期（平成23年1月1日～平成23年6月30日）の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

(1) 中間期（平成23年1月1日～平成23年6月30日）

（単位：千人民元、括弧内は千円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 中間純利益 人民元（円）
前回予想（A）	588,000 (7,312,978)	35,580 (442,510)	30,045 (373,671)	22,396 (278,540)	31.24 (388.47)
今回修正（B）	450,207 (5,599,244)	5,502 (68,428)	500 (6,212)	16,300 (202,722)	22.73 (282.73)
増減額（B-A）	△137,793 (△1,713,737)	△30,078 (△374,081)	△29,545 (△367,452)	△6,096 (△75,816)	△8.50 (△105.74)
増減率	△23.4%	△84.5%	△98.3%	△27.2%	△27.2%
（ご参考） 前期中間期実績	577,485 (7,182,200)	54,418 (676,803)	48,281 (600,471)	47,023 (584,823)	131.16 (1,631.28)

（注） 「円」で表示されている金額は、平成23年6月30日現在の上海外貨取引センターの対円の相場終値、100円=8.0405人民元で換算された金額です。以下同じです。

(2) 中間期連結業績予想の修正理由

2011年上半期においては、中国政府はマクロ経済の状況に対応し、物価インフレ、緊縮通貨政策を実施してきました。これらの影響を受け、当社グループの一部案件（2011年1月4日開示済みの華潤賀州プロジェクト等）に関する事業主の資金力不足により、工事期間が延長になったため、当社グループのEPC事業（設計・調達・建設）による売上が当初予想より下回りました。また、オペレーション・メンテナンス事業（O&M事業）につきましては、塔山プロジェクト（2009年7月16日開示済み）事業主の要望に応じて、業務及び営業活動効率化を図るため、塔山支社の設立が取締役会で決議されました（6月1日に開示済み）。当該プロジェクトの売上について、設立手続きが現時点で未完了のため、設立完了時点で（年内手続き完了見込み）、計上する予定であります。さらに、当社グループの石炭の配合及び販売事業は、中国鉄道の輸送力に影響され、経営計画が予定より遅れ、石炭事業による売上も当初予想を達成する見通しがないと見込んでおります。また、当社連結子会社である鎮江博奇が訴訟案件により特別利益を計上いたしました。

かかる要因で、2011年上半期における売上高、営業利益、経常利益、純利益はいずれも当初予測に比べ大きく変動したため、2011年上半期における業績予想を修正することに至りました。

2011年下半期において、中国経済は国内外経済の複雑性及び不明確な要素に依然として直面すると予測される中、当社グループは経営管理を強化し、積極的に事業見直しをしながら、建設中のプロジェクトの進捗ペースを速めるように努めてまいります。石炭の配合及び販売事業について、流通及び販売促進力を強化することに全力を尽くします。

2011年2月14日付で公表した当社2011年12月期（通期）業績予想について、下半期において不確定要素が多いため、引続き精査を進めてまいります。修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

本書に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、実際の業績は様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。
--

以 上